

令和5年度

大子町教育行政点検評価に関する報告書

令和6年1月

大子町教育委員会

【 目 次 】

1 教育行政の点検及び評価について

- (1) 点検及び評価の実施
- (2) 実施方法
- (3) 報告及び公表

2 主な事業の点検評価について

(1) 学校教育担当

- ① 中学校部活動補助事業
- ② 大子町コミュニティ・スクール事業
- ③ 大子町中高連携事業
- ④ クラウド型校務支援システム導入事業
- ⑤ Google Works for Education 有償版

(2) 生涯学習担当

- ① 大子町青少年育成町民会議補助金
- ② 家庭教育学級事業への補助金
- ③ 大子町芸術祭の開催
- ④ 奥久慈湯の里大子マラソン実行委員会補助金
- ⑤ 中央公民館施設整備事業

(3) 学校給食センター

- ① 防災対応型炊飯センター建設事業

1 教育行政の点検及び評価について

(1) 点検及び評価の実施

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第1項の規定に基づき、大子町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行いました。

(2) 実施方法

大子町教育行政点検評価委員会設置要綱第3条の規定に基づき委嘱された委員が事業を選定し、点検及び評価を行いました。

(3) 報告及び公表

評価結果の内容については、議会に報告後、公表します。

2 主な事業の点検評価について

令和4年度に実施された事業について、教育委員会事務局学校教育担当、生涯学習担当、学校給食センターからのヒアリングの結果を基に、事業を選定し点検及び評価を行いました。

(1) 学校教育担当関係

① 中学校部活動補助事業

今後の方向性	継続																		
事業の内容																			
<p>平成27年度から、中学校部活動を行う生徒を対象に一人あたり5,000円の補助を行っている。備品購入や練習試合の遠征費等を補助することで保護者の経済的負担を軽減する。</p> <p>【令和4年度実績】</p> <table border="1"><thead><tr><th>学校</th><th>実績額</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>大子中</td><td>1,000,000円</td><td>200名 野球、サッカー、男子テニス、女子テニス、男子バスケ 女子バスケ、剣道バレー、吹奏楽、文芸</td></tr><tr><td>大子西中</td><td>190,000円</td><td>38名 野球、男子テニス、女子テニス</td></tr><tr><td>南中</td><td>170,000円</td><td>34名 野球、男女テニス</td></tr><tr><td>生瀬中</td><td>145,000円</td><td>29名 野球、男女卓球、女子バスケ</td></tr><tr><td>合計</td><td>1,505,000円</td><td></td></tr></tbody></table> <p>※ 補助金額：生徒一人あたり5,000円</p>		学校	実績額	備考	大子中	1,000,000円	200名 野球、サッカー、男子テニス、女子テニス、男子バスケ 女子バスケ、剣道バレー、吹奏楽、文芸	大子西中	190,000円	38名 野球、男子テニス、女子テニス	南中	170,000円	34名 野球、男女テニス	生瀬中	145,000円	29名 野球、男女卓球、女子バスケ	合計	1,505,000円	
学校	実績額	備考																	
大子中	1,000,000円	200名 野球、サッカー、男子テニス、女子テニス、男子バスケ 女子バスケ、剣道バレー、吹奏楽、文芸																	
大子西中	190,000円	38名 野球、男子テニス、女子テニス																	
南中	170,000円	34名 野球、男女テニス																	
生瀬中	145,000円	29名 野球、男女卓球、女子バスケ																	
合計	1,505,000円																		
評価の内容																			
<p>生徒数の減少により、町内の中学校において多くの部活が廃部になっており、選択出来る部活が限定されている。また、チーム編成ができず合同チームで出場している部活もあるため、町内で練習試合等が出来ない状況である。</p> <p>中学校生活の思い出や、人間関係づくり、目標に向かって努力する向上心の醸成など、人生の中で大きな影響力を持つのが部活動であり、遠征し試合等を経験することは、生徒の競技力の向上につながると考えられる。</p> <p>保護者の経済的負担軽減の観点からも、町として中学校の部活動を支えるこの補助事業は必要な事業であり今後も継続することが望ましい。</p>																			

(1) 学校教育担当関係

② 大子町コミュニティ・スクール事業

今後の方向性	継続
事業の内容	
<p>平成29年3月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律が一部改正され、コミュニティ・スクールの導入が努力義務化された。当町では、学校と保護者及び地域住民との信頼関係を深め、学校運営の改善や児童生徒の健全育成に取り組むため、令和4年度から南中学校、上小川小学区で先行して導入した。令和5年度には、全ての中学校区でコミュニティ・スクールを導入する。</p> <p>【令和4年度実績】</p> <p>南中学区学校運営協議会委員15名 南中学区学校運営協議会を4回開催</p> <p>※委員報酬：年額12,000円 ※費用弁償：会議出席につき1回あたり1,000円</p>	
評価の内容	
<p>地域の声を学校運営に生かし、地域と一体となって特色ある学校を作り上げていくために大いに評価できる事業である。</p> <p>学校の中に地域住民や地域団体等が気軽に入れる環境となり、学校運営に地域人材の力や考えを導入することで、子供たちへのよりよい教育が期待できる。</p> <p>しかしながら、コミュニティ・スクールの目的などが、まだ保護者や地域住民に認知されていないのが現状であるため、今後はPTAや地域住民に周知し、事業への協力を仰ぐとともに、具体的な取組等について検討していく必要がある。</p> <p>また、今後は、学校の統廃合により通学区域が広がることで、地域の声の取りまとめなど、負担が増えてしまうことが懸念されるため、継続的・安定的な運営を可能とするための仕組み作りが必要である。</p>	

(1) 学校教育担当関係

③ 太子町中高連携事業

今後の方向性	継続
事業の内容	
<p>太子町立中学校及び茨城県立太子清流高等学校が連携して事業に取り組むことにより、中学校及び清流高校の魅力向上を推進することで、町内中学生の清流高校への進学率を上げ清流高校の生徒数を確保する。</p> <p>令和4年度に中高連携事業検討委員会を立ち上げ、検討委員会において事業案を検討し清流高校と協議の上、具体的な事業について決定し、新規事業として令和5年度当初予算に計上。</p> <p>【令和4年度実績】</p> <p>中高連携事業検討委員15名、2回開催</p> <p>※ 委員報酬：会議1回あたり5,000円</p> <p>※ 費用弁償：会議1回あたり1,000円</p> <p>検討委員会において決定した、令和5年度新規事業の主な内容</p> <p>①総合学習の設計・拡充、②公営塾の設置・運営、③全国募集の拡充</p>	
評価の内容	
<p>太子清流高等学校は、生徒数の減少により統廃合が懸念されているが、遠距離通学せず通学できる町内唯一の県立高校であるため、高校の存続が当町にとって重要な課題である。</p> <p>生徒の夢の実現に向け、義務教育の9年間だけでなく、高等学校までの12年間を通した継続的な支援を行っていくことは、大変意義のあるものである。</p> <p>太子清流高等学校への進学率を上げるのは難しいことであるが、今後も、生徒のニーズに対応して魅力を高め、町内外の中学生とその保護者から選ばれる高校を目指した、継続的な事業の実施が必要である。</p> <p>取組の内容については、SNS等を活用しターゲットへ向けた積極的な情報発信を行うなど、効果的なプロモーションによる認知拡大を図りたい。</p>	

(1) 学校教育担当関係

④ クラウド型校務支援システム導入事業

今後の方向性	継続
事業の内容	
<p>大子町内全小中学校において、モチベーションワークス株式会社が提供するフルクラウド統合型校務支援システム「BLEND」を活用した業務改善を行った。文部科学省が進める校務DX化を推進するためにも非常に有効である。</p> <p>児童生徒の指導要録や出席簿、通知表等の帳簿を電子化し、情報を一元管理することでセキュリティ面にも、働き方改革にも寄与した。</p> <p>また、保護者の欠席連絡や、学校から保護者への配付文書をブラウザやアプリ上で行うことで、スムーズな情報共有やペーパーレス化の推進を図った。</p> <p>【令和4年度実績（使用料）】</p> <p>(小学校) ライセンス費用 3,249,919 円</p> <p>(中学校) ライセンス費用 2,110,200 円</p>	
評価の内容	
<p>学校における校務量は大変多く、教職員の残業で補っているのが現状である。校務の負担を軽減させる校務支援システムは、多忙な教員の業務負担を軽減し、児童生徒に必要な指導を行うために活用されており、長時間勤務を解消し、教育の質の維持向上を図るための具体的な解決策として期待できる。</p> <p>また、支援システムの導入による校務のDX化は、働き方改革だけでなく、スムーズな情報の提供や出欠の連絡など、保護者のストレス軽減やペーパーレス化にも効果的である。</p> <p>児童生徒の個人情報の取扱いなど、情報管理には十分注意を払っていただきたい。</p>	

(1) 学校教育担当関係

⑤ Google Works for Education 有償版

今後の方向性	継続
事業の内容	
<p>Google Works for Education を有償版にすることで、セキュリティの強化や学習アプリケーションの機能充実を図り、質の高い教育につながった。スライドやドキュメント、ジャムボード等を児童生徒が活用し、共有することで協同的な学びの充実を図った。オンラインで授業に参加することもでき、児童生徒の学習保障の面でも効果があった。</p> <p>【令和4年度実績（使用料）】</p> <p>(小学校) $479ID \times 600 \text{円} \times 1.1 = 287,400 \text{円}$</p> <p>(中学校) $311ID \times 600 \text{円} \times 1.1 = 186,600 \text{円}$</p>	
評価の内容	
<p>GIGA スクール構想で1人1台の端末が導入され、それらを使用する機会が増えており、より深い学びにつながっている。この学習支援ツールの利用は、端末を効果的に活用した、個別最適な学びと協働的な学びによる教育の質及び学力の向上に効果的であり、セキュリティの強化にもつながるものであると考える。</p> <p>無償で使用できる機能には制限があるため、今後も継続して、常に新しいバージョンを導入していく必要がある。</p>	

(2) 生涯学習担当関係

① 大子町青少年育成町民会議補助金

今後の方向性	継続
事業の内容	
<p>青少年に関わる活動を展開しながら、行政等に働きかけを行い、町民一体となって青少年の心身の健全育成を図ることを目的に活動を行っています。</p> <p>主に、「中高生の主張大会」や「「家庭の日」絵画・ポスター展」、「我が家の作文コンクール」等の事業を行い、町内の小中学校及び高等学校と連携を図りながら、青少年を見守る活動を行っています。</p> <p>特に、「中高生の主張大会」は、FMだいに依頼し、録音放送にて全町民へ発表内容を周知しています。また、「絵画ポスター展」は、町芸術祭において全作品を展示しております。</p> <p>【実施事業】</p> <ul style="list-style-type: none">・会費の取りまとめ・中高生の主張大会・青少年問題を考える合同研修会・「家庭の日」絵画・ポスター展・「あいさつ・声かけ」運動・我が家の作文コンクール・広報紙の発行	
評価の内容	
<p>少子化や、核家族化が進行する中で、生活環境が大きく変化し、社会体験の機会の減少や、インターネット・スマホ等の使用の増加など、青少年の健全育成に影響を及ぼしている。</p> <p>当町においても、児童生徒数の減少は顕著であるが、実施事業を通して関係団体と連携し、子供たちの健全育成ができるのは強みであり、青少年育成に大きく貢献していると考えている。</p> <p>子供たちに活躍の場を提供するとともに、町全体で子供たちを育てるための効果的な事業であるため、今後も継続することが望ましい。</p> <p>事業内容については、年々マンネリ化しているため、各種団体と連携し、時代に対応した見直しも検討する必要がある。</p>	

(2) 生涯学習担当関係

② 家庭教育学級事業への補助金

今後の方向性	継続
事業の内容	
<p>家庭教育における子供たちの教育のあり方などについて、正しい理解をもつための学習の機会をつくるため、毎年指定された学校において、それぞれ工夫した事業を展開しています。親子ふれあい行事や体験学習、グループワークや講演会などを開催しPTAの研修にも寄与しています。</p>	
令和4年度事業内容	
<上小川小学校>	・ケータイスマホ安全教室 ・昔遊び体験 ・救急救命講習会 等
<生瀬小学校>	・親子活動（ベンチの塗装） ・ " （巣箱設置） 等
<大子中学校>	・SNS、LINEの正しい使い方研修 ・合唱コンクールを振り返る ・名字についての講演会 等
評価の内容	
<p>少子化や、核家族化が進行する中で、子育ての悩み等を共有する機会や、子供たちの体験の機会は減少しており、家庭教育における子供たちへの教育のあり方等について学習の機会を設けることは大変意義があることである。</p> <p>親子ふれあい行事や体験学習を通して、親子や親同士のつながり、子供たちの体験機会などを計画的かつ継続的に提供することは、子供たちの健やかな成長のために必要である。</p> <p>指定された学校だけでなく町内小中学校全校を対象としていただきたい。</p>	

(2) 生涯学習担当関係

③ 大子町芸術祭の開催

今後の方向性	継続																
事業の内容																	
<p>大子町芸術祭実行委員会を設置し、町民の日ごろの文化、芸術、芸能等の活動の成果を発表・展示する機会を提供した。メイン会場となるリフレッシュセンターでは美術展（日本画、洋画、彫刻、立体造形、工芸、写真、書）や文芸展（俳句、短歌）、盆栽展、生け花展を、隣接する中央公民館には、学校や社会福祉施設が作成した作品を展示した。また、文化福社会館まいんでは、音楽祭や芸能祭を開催した。</p>																	
<p><作品数></p> <table><tr><td>・美術展</td><td>577点</td><td>・音楽芸能祭</td><td>17団体</td></tr><tr><td>・文芸展</td><td>83点</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・盆栽展</td><td>24点</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・生け花展</td><td>1団体</td><td></td><td></td></tr></table>		・美術展	577点	・音楽芸能祭	17団体	・文芸展	83点			・盆栽展	24点			・生け花展	1団体		
・美術展	577点	・音楽芸能祭	17団体														
・文芸展	83点																
・盆栽展	24点																
・生け花展	1団体																
評価の内容																	
<p>少子高齢化の中、住民の取組の成果を披露すると共に、その取組を認め、生かす場として重要な機会であり、今後も継続する価値がある。</p> <p>町民の文化・芸術・芸能の活動成果の発表の場としてだけでなく、高齢者の生きがいや活力の創出にも大きく貢献しているが、若い世代の参加が少ないのが課題である。</p> <p>今後は、芸術・芸能活動への参加者の裾野を広げ、新たに若い世代の参加が増えるような取組が必要である。</p>																	

(2) 生涯学習担当関係

④ 奥久慈湯の里大子マラソン実行委員会補助金

今後の方向性	継続
事業の内容	
<p>実行委員会を組織し、細部にわたり協議を重ね運営にあたっている。年齢や体力に応じ、誰でも気軽に参加でき、体力の増強、健康増進及び地域の人々と全国からの参加者との交流を図る。また、町の特産品を参加賞や入賞賞品として提供することで、町のPR活動にも寄与する。</p> <p>町内の災害、新型インフルエンザの影響などにより3年間中止となった。</p> <p>【56回大会種目別人数】</p> <ul style="list-style-type: none">・ハーフ 529名・10km 237名・5km 361名 中学生 37名・2km 158名 親子の部 46組	
評価の内容	
<p>長い歴史のある奥久慈湯の里大子マラソン大会は、町民はじめ全国からの多くのマラソン愛好家が気軽に参加できる大会である。マラソンコースや参加賞・入賞賞品などに町の特色を生かし、観光誘客や特産品の周知の手段としての機能も果たしており、今後も事業継続が望まれる。</p> <p>参加者の体力増強、健康維持、参加者との交流等、事業の目的に沿った内容となっているが、町内参加者が少ないのが課題である。</p> <p>また、令和4年度は4年ぶりに開催したが、以前に比べ参加者が集まりにくい状況であるため、今後は、参加賞・入賞賞品はもとより、種目にも特徴を持たせることで、町内小・中学生をはじめ、町内外からの参加者の誘致を図る必要がある。</p>	

(2) 生涯学習担当関係

⑤ 中央公民館施設整備事業

今後の方向性	継続
事業の内容	
<p>中央公民館は、町全体の活動拠点であるため、利用者が安全で快適に利用できる施設環境の整備を計画的に行う。</p> <p>【今年度の実施事業】</p> <ul style="list-style-type: none">・中央公民館補修工事（軽微な補修など）・中央公民館音響設備改修工事（電波法の改正による講堂内音響設備の改修）・中央公民館講堂床張替工事（経年劣化のための改修）	
評価の内容	
<p>町民の文化的な講座や活動を企画し運営する中央公民館は、町民同士の交流や学びの場であり、文化・スポーツなど生涯学習の拠点となる施設である。</p> <p>町全体の活動拠点として、利用者も多く、無くてはならない施設であるが、築54年（昭和44年開館）を超えており建物や附帯設備が老朽化している。</p> <p>今後も継続的な生涯学習の推進及び住民サービスの向上を図るため、施設の建て替えが望まれる。</p>	

(1) 学校給食センター関係

① 防災対応型炊飯センター建設事業

今後の方向性	継続
事業の内容	
<p>学校給食の米飯は、長年炊飯を外部へ委託してきたが、年々炊飯加工事業から撤退する業者が増え、炊飯を委託することが困難な状況となっていることから、学校給食を安全安心で安定的に供給するために、炊飯施設を建設する。また、災害等発生時における町民への米飯提供を可能とするため、非常用電源装置を備えた施設とする。</p>	
評価の内容	
<p>防災対応型炊飯センターは、学校給食において主食である米飯を安全安心で、安定的に供給することができるだけでなく、非常用電源装置を備えており、災害発生時に町民へ米飯を供給することができる施設である。</p> <p>近年、気候変動の影響に伴い、各地で災害が激甚化・頻発化しており、非常事態で食の安定供給ができるということは、町民にとっても重要な施設である。</p> <p>また、大子産米を使用して、町内で炊飯した米飯を小中学生に学校給食として提供できるこの事業は、地産地消の取組として地域の活性化にも効果的な事業である。</p>	